

注3

大学番号：私134

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

神奈川歯科大学大学院 歯学研究科 歯学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神奈川歯科大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学院教育研究部

職名・氏名 シュサ ニシワキ ユウコ
主査 西脇 優子

電話番号 046-822-8826

（夜間） 046-822-9406

F A X 046-825-1506

e-mail graduate@kdu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

歯学研究科

<歯学専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神奈川歯科大学

(2) 大学名

神奈川歯科大学大学院

(3) 大学の位置

- ・横須賀キャンパス
〒238-8580
神奈川県横須賀市稲岡町82番地
- ・横浜キャンパス
〒221-0835
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-31-6
(〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カシマ イサム) 鹿島 勇 (平成21年12月)		
学長	(ヒラタ ユキオ) 平田 幸夫 (平成26年4月)	(サクライ タカシ) 櫻井 孝 (平成29年4月)	変更の理由：学長の任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日 (29)
研究科長	(ツキノキ ケイイチ) 槻木 恵一 (平成25年5月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
歯学研究科 歯学専攻(博士課程) 博士(歯学)	歯学関係	4年	18人	72人	基礎となる学部等 歯学部歯学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	18人 (若干名) [若干名]	人	18人 (若干名) [若干名]	人	人 () []	人	人 () []	人	1.02倍	
志願者数	18 (6) [1]	- (-) [-]	24 (9) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	18 (6) [1]	- (-) [-]	24 (9) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	18 (6) [1]	- (-) [-]	23 (9) [1]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	17 (6) [1]	- (-) [-]	20 (9) [1]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.94		1.11							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	17 [1] (-)	- [-] (-)	20 [1] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次			17 [1] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次									[] ()	[] ()	[] ()
計			17 [1] (-)		37 [2] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	17人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	37人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	54人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<歯学研究科 歯学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本 本科 目	研究基盤学	1前	2			5	1		1			
	多分野最新研究学	1後	2			9	3					
	学術発表演習	2前	2				1					
	医学英語演習	2後	2				1					
	医学統計演習	2後	2				1					
専 門 科 目 入 門	環境病理学入門	1通		4		1						
	咀嚼機能制御補綴学入門	1通		4		1						
	小児成育歯科学入門	1通		4		1		2				
	社会歯科学入門	1通		4		1						
	歯周病リスク診断学入門	1通		4		1				1		
	歯髄生物学入門	1通		4		1						
	高齢者の全身疾患と管理入門	1通		4		1						
	臨床麻酔科学入門	1通		4		1						
	障害者歯科学入門	1通		4		1						
	咬合医学入門	1通		4		1						
	不正咬合学入門	1通		4		1						
	放射線学入門	1通		4		1						
	歯学教育学入門	1通		4		1						
	内科学入門	1通		4		1						
	神経解剖学入門	1通		4		1						
	口腔感染症学入門	1通		4		1						
	口腔健康科学入門	1通		4		1	1	2				
	災害医療歯科学入門	1通		4		2	2	1				
	口腔分子細胞制御学入門	1通		4		1						
	歯の硬組織疾患学入門	1通		4		1						
	歯科形態学入門	1通		4		1						
	顎顔面外科学入門	1通		4			1					
	咀嚼の脳科学入門	1通		4			1					
	唾液腺健康医学入門	1通		4			1					
	循環制御歯科学入門	1通		4			1					
	光歯科医学入門	1通		4			1					
	歯科生体材料器械科学入門	1通		4			1					
	高度先進睡眠時無呼吸障害入門	1通		4			1					
	高度先進麻酔科学入門	1通		4			1					
	高度先進矯正学入門	1通		4			1					
	高度先進インプラント・歯周病学入門	1通		4			1					
	眼科学入門	1通		4			1					
高度先進臨床口腔医学入門	1通		4			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本 本科 目	研究基盤学	1前	2				6	1		1		
	多分野最新研究学	1後	2				11	2				
	学術発表演習	2前	2				4	1				
	医学英語演習	2後	2					1				
	医学統計演習	2後	2					1				
専 門 科 目 入 門	環境病理学入門	1通		4		1						
	咀嚼機能制御補綴学入門	1通		4		1						
	小児成育歯科学入門 (未開講)	1通		4		1		2				
	社会歯科学入門 (未開講)	1通		4		1						
	歯周病リスク診断学入門	1通		4		1			1			
	歯髄生物学入門 (未開講)	1通		4		1						
	高齢者の全身疾患と管理入門	1通		4		1						
	臨床麻酔科学入門 (未開講)	1通		4		1						
	障害者歯科学入門 (未開講)	1通		4		1						
	咬合医学入門	1通		4		1						
	不正咬合学入門 (未開講)	1通		4		1						
	放射線学入門	1通		4		1						
	歯学教育学入門 (未開講)	1通		4		1						
	内科学入門 (未開講)	1通		4		1						
	神経解剖学入門 (未開講)	1通		4		1						
	口腔感染症学入門	1通		4		1						
	口腔健康科学入門 (未開講)	1通		4		1	1	2				
	災害医療歯科学入門 (未開講)	1通		4		3	2	0				
	口腔分子細胞制御学入門 (未開講)	1通		4		1						
	歯の硬組織疾患学入門	1通		4		1						
	歯科形態学入門	1通		4		1						
	顎顔面外科学入門 (未開講)	1通		4			1					
	咀嚼の脳科学入門 (未開講)	1通		4			1					
	唾液腺健康医学入門 (未開講)	1通		4			1	0				
	循環制御歯科学入門 (未開講)	1通		4			1	0				
	光歯科医学入門	1通		4			1					
	歯科生体材料器械科学入門	1通		4			1	0				
	高度先進睡眠時無呼吸障害入門 (未開講)	1通		4			1					
	高度先進麻酔科学入門	1通		4			1					
	高度先進矯正学入門	1通		4			1					
	高度先進インプラント・歯周病学入門	1通		4			1					
	眼科学入門 (未開講)	1通		4			1					
高度先進臨床口腔医学入門 (未開講)	1通		4			1	0					
顎顔面外科高度先進治療学入門	1通		4			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選 択 科 目 特 論 I	口腔病理診断学特論	3後	4			1	1					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後	4			1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後	4			1		3	2			
	社会的決定要因特論	3後	4			1						
	歯周病のリスク管理特論	3後	4			1		1				
	感染制御医学特論	3後	4			1						
	口腔機能管理特論	3後	4			1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後	4			1						
	障害者病態解析特論	3後	4			1						
	高度咬合医科学特論	3後	4			1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後	4			1			1			
	臨床画像診断学特論	3後	4			1						
	教学IR特論	3後	4			1						
	内分泌学特論	3後	4			1						
	神経解剖学画像解析特論	3後	4			1						
	口腔感染治療学特論	3後	4			1						
	フッ化物応用科学特論	3後	4			1	1	2				
	歯科法医学特論	3後	4			1						
	歯周組織における骨免疫学特論	3後	4			1						
	ブラーク・ラシ制御学特論	3後	4			1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後	4			1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後	4				1					
	口腔高次脳科学特論	3後	4			1						
	片頭痛と咬合学特論	3後	4			1						
	循環病態薬物療法特論	3後	4			1						
	酸化ストレス医学特論	3後	4			1						
	接着歯科科学特論	3後	4			1						
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後	4			1						
	高度先進矯正基礎学特論	3後	4			1						
	歯周組織再生療法学特論	3後	4			1						
	眼科学における機能評価法特論	3後	4			1						
	臨床歯科技工特論	3後	4				1					
選 択 科 目 特 論 II	唾液検査学特論	4通	4			1						
	先端補綴治療学特論	4通	4			1		1	7			
	臨床小児成育歯科学特論	4通	4			1		3	2			
	歯科保健政策特論	4通	4			1						
	集学的統合歯周治療学特論	4通	4			1						
	歯髄・硬組織再生医療学特論	4通	4			1						
	地域医療連携特論	4通	4			1						
	周術期の糖脂質代謝特論	4通	4			1						
	障害者行動管理特論	4通	4			1						
	デジタル補綴咬合医科学特論	4通	4			1						
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通	4			1			1			
	画像工学応用科学特論	4通	4			1						
	歯学教育学修評価特論	4通	4			1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通	4			1						
神経解剖学微細構造観察法特論	4通	4			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選 択 科 目 特 論 I	口腔病理診断学特論	3後	4			1	1					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後	4			1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後	4			1		3	0			
	社会的決定要因特論	3後	4			1						
	歯周病のリスク管理特論	3後	4			1		1	0			
	感染制御医学特論	3後	4			1						
	口腔機能管理特論	3後	4			1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後	4			1						
	障害者病態解析特論	3後	4			1						
	高度咬合医科学特論	3後	4			1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後	4			1		1		1		
	臨床画像診断学特論	3後	4			1						
	教学IR特論	3後	4			1						
	内分泌学特論	3後	4			1						
	神経解剖学画像解析特論	3後	4			1						
	口腔感染治療学特論	3後	4			1						
	フッ化物応用科学特論	3後	4			1	1	2				
	歯科法医学特論	3後	4			1						
	歯周組織における骨免疫学特論	3後	4			1						
	ブラーク・ラシ制御学特論	3後	4			1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後	4			1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後	4				1					
	口腔高次脳科学特論	3後	4			1						
	片頭痛と咬合学特論	3後	4			1		0				
	循環病態薬物療法特論	3後	4			1		0				
	酸化ストレス医学特論	3後	4			1						
	接着歯科科学特論	3後	4			1		0				
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後	4			1						
	高度先進矯正基礎学特論	3後	4			1						
	歯周組織再生療法学特論	3後	4			1						
	眼科学における機能評価法特論	3後	4			1						
	臨床歯科技工特論	3後	4				1	0				
選 択 科 目 特 論 II	唾液検査学特論	4通	4			1						
	先端補綴治療学特論	4通	4			1		1	5			
	臨床小児成育歯科学特論	4通	4			1		3	0			
	歯科保健政策特論	4通	4			1						
	集学的統合歯周治療学特論	4通	4			1		1				
	歯髄・硬組織再生医療学特論	4通	4			1						
	地域医療連携特論	4通	4			1						
	周術期の糖脂質代謝特論	4通	4			1						
	障害者行動管理特論	4通	4			1						
	デジタル補綴咬合医科学特論	4通	4			1						
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通	4			1		1		1		
	画像工学応用科学特論	4通	4			1						
	歯学教育学修評価特論	4通	4			1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通	4			1						
神経解剖学微細構造観察法特論	4通	4			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論Ⅱ	口腔感染症学特論	4通		4		1						
	臨床予防歯科学特論	4通		4		1	1	2				
	分子歯周組織再生学特論	4通		4		1						
	審美修復学特論	4通		4		1						
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通		4		1						
	有病者口腔管理学特論	4通		4			1					
	口腔全身統合科学特論	4通		4			1					
	唾液腺病態科学特論	4通		4			1					
	抗加齢歯科医学特論	4通		4			1					
	光線力学療法特論	4通		4			1					
	界面制御科学特論	4通		4			1					
	高度先進麻酔科学特論	4通		4		1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通		4		1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通		4		1						
	眼科学と全身疾患特論	4通		4		1						
ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通		4			1						
研究指導科目 (研究指導)		1~4	-	-	-	22	7					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論Ⅱ	口腔感染症学特論	4通		4		1						
	臨床予防歯科学特論	4通		4		1	1	2				
	分子歯周組織再生学特論	4通		4		1						
	審美修復学特論	4通		4		1						
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通		4		1						
	有病者口腔管理学特論	4通		4				1				
	口腔全身統合科学特論	4通		4				1				
	唾液腺病態科学特論	4通		4				1	0			
	抗加齢歯科医学特論	4通		4				1	0			
	光線力学療法特論	4通		4				1				
	界面制御科学特論	4通		4				1	0			
	高度先進麻酔科学特論	4通		4		1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通		4		1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通		4		1						
	眼科学と全身疾患特論	4通		4		1						
ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通		4				1	0				
研究指導科目 (研究指導)		1~4	-	-	-	27	4					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本科目	研究基盤学	1前	2			5	1		1		
	多分野最新研究学	1後	2			11	2				
	学術発表演習	2前	2					1			
	医学英語演習	2後	2					1			
	医学統計演習	2後	2					1			
専門科目入門	環境病理学入門	1通		4			1				
	咀嚼機能制御補綴学入門	1通		4			1				
	小児成育歯科学入門(未開講)	1通		4			1		2		
	社会歯科学入門(未開講)	1通		4			1				
	歯周病リスク診断学入門	1通		4			1				
	歯髄生物学入門	1通		4			1				
	高齢者の全身疾患と管理入門	1通		4			1				
	臨床麻酔科学入門(未開講)	1通		4			1				
	障害者歯科学入門(未開講)	1通		4			1				
	咬合医学入門(未開講)	1通		4			1				
	不正咬合学入門	1通		4			1				
	放射線学入門(未開講)	1通		4			1				
	歯学教育学入門(未開講)	1通		4			1				
	内科学入門(未開講)	1通		4			1				
	神経解剖学入門(未開講)	1通		4			1				
	口腔感染症学入門(未開講)	1通		4			1				
	口腔健康科学入門(未開講)	1通		4			1	1	2		
	災害医療歯科学入門(未開講)	1通		4			3	2	0		
	口腔分子細胞制御学入門(未開講)	1通		4			1				
	歯の硬組織疾患学入門(未開講)	1通		4			1				
	歯科形態学入門(未開講)	1通		4			1				
	顎顔面外科学入門	1通		4				1			
	咀嚼の脳科学入門(未開講)	1通		4				1			
	唾液腺健康医学入門(未開講)	1通		4				1			
	循環制御歯科学入門	1通		4			1	0			
	光歯科医学入門(未開講)	1通		4				1			
	歯科生体材料器械科学入門(未開講)	1通		4			1	0			
	高度先進睡眠時無呼吸障害入門(未開講)	1通		4			1				
	高度先進麻酔科学入門(未開講)	1通		4			1				
	高度先進矯正学入門	1通		4			1				
	高度先進インプラント・歯周病学入門	1通		4			1				
眼科学入門(未開講)	1通		4			1					
高度先進臨床口腔医学入門(未開講)	1通		4				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 実習	環境病理学実習	2通	4			1	1	1	2			
	咀嚼機能制御補綴学実習	2通	4			1	1	4	3			
	小児成育歯科学実習	2通	4			1		3	2			
	社会歯科学実習	2通	4			1			1			
	歯周医学実習	2通	4			1		3	1			
	歯髄生物学実習	2通	4			1	1	1	1			
	摂食嚥下機能障害支援実習	2通	4			1		2	2			
	周術期の循環・呼吸管理実習	2通	4			1		1	2			
	咬合医学実習	2通	4			1			1			
	不正咬合学実習	2通	4			1		1	3			
	放射線学実習	2通	4			1	2	0	2			
	歯学教育学基礎実習	2通	4			3	3					0
	内科学実習	2通	4			2						
	神経解剖学実習	2通	4			1		1				
	口腔感染症学実習	2通	4			1		1	1			
	口腔健康科学実習	2通	4			1	1	2				
	災害法医情報歯科学実習	2通	4			2		2				
	災害対応歯科学実習	2通	4			1	1	0				
	災害口腔保健管理学実習	2通	4			1	1					
	口腔分子細胞制御学実習	2通	4			1		2	1			
	う蝕制御・修復学実習	2通	4			1		2	2			
	歯科形態学実習	2通	4			1		1	1			
	顎顔面外科学実習	2通	4			1	1	3	2			
	咀嚼の脳科学実習	2通	4				1	1				
	唾液腺健康医学解析実習	2通	4				1					
	循環制御歯科学実習	2通	4			1	0	1				
	光歯科医学実習	2通	4				1		1			
	歯科生体材料科学実習	2通	4			1	0		2			
	高度先進睡眠時無呼吸障害学実習	2通	4			1		1	3			
	高度先進麻酔科学実習	2通	4			1		2	1	1		
	高度先進矯正治療診断学実習	2通	4			1		1	2			
	高度先進インプラント・歯周病学実習	2通	4			1		1	3			
	眼科学実習	2通	4			1			2			
	ミニマルインターベンション補綴学実習	2通	4				1	1				
統合専門科目 演習	口腔医療学演習	3通	4			8	0					
	生体管理学演習	3通	4			1		3	4			
	口腔腫瘍学演習	3通	4			3	1	2				
	歯学教育学演習	3通	4			3	1					0
	口腔科学演習	3通	4			7	3					
	災害医療歯科学演習	3通	4			1						
	社会総合医療科学演習	3通	4			1						
高度先進口腔医学演習	3通	4			4	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目特論I	口腔病理診断学特論	3後		4		1	1					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後		4		1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後		4		1		3	2			
	社会的決定要因特論	3後		4		1						
	歯周病のリスク管理特論	3後		4		1		1				
	感染制御医学特論	3後		4		1						
	口腔機能管理特論	3後		4		1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後		4		1						
	障害者病態解析特論	3後		4		1						
	高度咬合医科学特論	3後		4		1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後		4		1			1			
	臨床画像診断学特論	3後		4		1						
	教学IR特論	3後		4		1						
	内分泌学特論	3後		4		1						
	神経解剖学画像解析特論	3後		4		1						
	口腔感染治療学特論	3後		4		1						
	フッ化物応用科学特論	3後		4		1	1	2				
	歯科法医学特論	3後		4		1						
	歯周組織における骨免疫学特論	3後		4		1						
	ブラーク・ウ蝕制御学特論	3後		4		1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後		4		1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後		4				1				
	口腔高次脳科学特論	3後		4				1				
	片頭痛と咬合学特論	3後		4				1				
	循環病態薬物療法特論	3後		4		1	0					
	酸化ストレス医学特論	3後		4				1				
	接着歯科科学特論	3後		4		1	0					
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後		4		1						
	高度先進矯正基礎学特論	3後		4		1						
	歯周組織再生療法学特論	3後		4		1						
	眼科学における機能評価法特論	3後		4		1						
	臨床歯科理工特論	3後		4				1				
	選択科目特論II	唾液検査学特論	4通		4		1					
先端補綴治療学特論		4通		4		1	1	2	5			
臨床小児成育歯科学特論		4通		4		1		3	2			
歯科保健政策特論		4通		4		1						
集学的統合歯周治療学特論		4通		4		1						
歯髄・硬組織再生医療学特論		4通		4		1						
地域医療連携特論		4通		4		1						
周術期の糖脂質代謝特論		4通		4		1						
障害者行動管理特論		4通		4		1						
デジタル補綴咬合医学特論		4通		4		1						
咀嚼器官の機能と機能障害学特論		4通		4		1			1			
画像工学応用科学特論		4通		4		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論 II	歯学教育学学修評価特論	4通		4		1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通		4		1						
	神経解剖学微細構造観察法特論	4通		4		1						
	口腔感染症学特論	4通		4		1						
	臨床予防歯科学特論	4通		4		1	1	2				
	分子歯周組織再生学特論	4通		4		1						
	審美修復学特論	4通		4		1						
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通		4		1						
	有病者口腔管理学特論	4通		4			1					
	口腔全身統合科学特論	4通		4			1					
	唾液腺病態科学特論	4通		4			1					
	抗加齢歯科医学特論	4通		4		1	0					
	光線力学療法特論	4通		4			1					
	界面制御科学特論	4通		4		1	0					
	高度先進麻酔科学特論	4通		4		1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通		4		1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通		4		1						
	眼科学と全身疾患特論	4通		4		1						
	ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通		4			1					
	研究指導科目 (研究指導)	1~4	-	-	-	27	5					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・教育課程充実のための増員および昇格の理由により、「多分野最新研究学」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授11」、「准教授3」から「准教授2」に変更。

・学長就任の理由により、「歯学教育学入門」の科担当教員を変更。

・昇格の理由により、「災害医療歯科学入門」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。

・昇格の理由により、「循環制御歯科学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「歯科生体材料器械科学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「環境病理学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・教育課程充実のための増員および昇格の理由により、「咀嚼機能制御補綴学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師4」、「助教5」から「助教3」に変更。

・所属講座変更の理由により、「歯周医学実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。また、退職に伴い担当教員を変更。

・昇格および教育課程充実のための増員の理由により、「歯髄生物学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・退職に伴う担当者変更の理由により、「周術期の循環・呼吸管理実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教2」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「不正咬合学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・退職に伴う担当者変更および昇格の理由により、「放射線学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「講師2」から「講師0」に変更。

・学長就任および退職に伴う担当者変更、教育課程充実のための増員と専任化の理由により、「歯学教育学基礎実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授2」から「准教授3」、「兼任2」から「兼任0」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「内科学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「神経解剖学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「口腔感染症学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「災害法医情報歯科学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

・昇格の理由により、「災害対応歯科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。

・退職に伴う担当者変更および教育課程充実のための増員の理由により、「口腔分子細胞制御学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。

・教育課程充実のための増員および昇格の理由により、「顎顔面外科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。

・昇格の理由により、「循環制御歯科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「光歯科医学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。

・昇格の理由により、「歯科生体材料科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「高度先進睡眠時無呼吸障害学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教3」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「高度先進麻酔科学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「高度先進矯正治療診断学実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。

・所属講座変更による担当者減員の理由により、「高度先進インプラント・歯周病学実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。また、退職に伴い担当教員を変更。

・昇格の理由により、「口腔医療学演習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・退職に伴う担当者変更の理由により、「生体管理学演習」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」、「助教3」から「助教4」に変更。

・退職に伴う担当者変更の理由により、「口腔腫瘍学演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師3」から「講師2」に変更。

・学長就任および退職に伴う担当者変更、教育課程充実のための専任化の理由により、「歯学教育学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」、「兼任2」から「兼任0」に変更。

・昇格の理由により、「口腔科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授4」から「准教授3」に変更。

・学長就任の理由により、「教学1R特論」の科担当教員を変更。

・昇格の理由により、「循環病態薬物療法特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「接着歯科科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「先端補綴治療学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教7」から「助教5」に変更。

・学長就任の理由により、「歯学教育学学修評価特論」の科担当教員を変更。

・昇格の理由により、「抗加齢歯科医学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「界面制御科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・教育課程充実のための増員および昇格の理由により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授27」、「准教授7」から「准教授5」に変更。

【平成30年度】

・教育課程充実のための理由により、「研究基盤学」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。

・教育課程充実のための増員および昇格の理由により、「多分野最新研究学」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授11」、「准教授3」から「准教授2」に変更。

・教育課程充実のための理由により、「学術発表演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授4」に変更。

・教育課程充実のための理由により、「歯周病リスク診断学入門」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・昇格の理由により、「災害医療歯科学入門」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。

・留学のため担当者変更の理由により、「唾液腺健康医学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「循環制御歯科学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「歯科生体材料器械科学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・昇格の理由により、「高度先進臨床口腔医学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・教授昇格のため新たに「顎顔面外科高度先進治療学入門」の科目を追加した理由により、専任教員等に「教授2」及び「講師1」を配置した。

・教育課程充実のための増員の理由により、「環境病理学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・教育課程充実のための増員および昇格、退職の理由により、「咀嚼機能制御補綴学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師3」、「助教5」から「助教6」に変更。

・退職および担当者補充の理由により、「歯周医学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更。

・昇格および教育課程充実のための増員の理由により、「歯髄生物学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「摂食嚥下機能障害学実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に変更。

・退職および教育課程充実のための増員の理由により、「周術期の循環・呼吸管理実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教1」から「助教3」に変更。

・所属講座変更による担当者減員の理由により、「咬合医学実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。

・教育課程充実のための増員の理由により、「不正咬合学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。

・退職に伴う担当者変更および昇格の理由により、「放射線学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「講師2」から「講師0」に変更。

- ・学長就任および退職に伴う担当者変更教育課程充実のための増員と専任化、定年退職の理由により、「歯学教育学基礎実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授3」、「兼任2」から「兼任0」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「内科学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「神経解剖学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「口腔感染症学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「災害法医情報歯科学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・昇格の理由により、「災害対応歯科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・退職に伴う担当者変更および教育課程充実のための増員の理由により、「口腔分子細胞制御学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・昇格および教育課程充実のための増員の理由により、「う蝕制御・修復学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・教育課程充実のための増員および昇格の理由により、「顎顔面外科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・留学のため担当者変更の理由により、「唾液腺健康医学解析実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「循環制御歯科学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「光歯科学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・昇格の理由により、「歯科生体材料科学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・短期大学部への移動および教育課程充実のための増員の理由により、「高度先進睡眠時無呼吸障害学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「高度先進麻酔科学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「高度先進矯正治療診断学実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・退職および所属講座変更による担当者減員と補充の理由により、「高度先進インプラント・歯周病学実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」、「助教3」から「助教2」に変更。
- ・昇格および教育課程充実のための増員の理由により、「ミニマルインターベンション補綴学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「助教0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教授昇格のため新たに「手術シミュレーション実習」の科目を追加した理由により、専任教員等に「教授1」及び「講師2」、「助教1」を配置した。
- ・昇格および懲戒解雇の理由により、「口腔医療学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・退職の理由により、「生体管理学演習」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・退職に伴う担当者変更の理由により、「口腔腫瘍学演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・退職（定年退職含む）および教育課程充実のための専任化の理由により、「歯学教育学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」、「兼任2」から「兼任0」に変更。
- ・昇格及び退職（定年退職含む）、留学のため担当者変更の理由により、「口腔科学演習」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授2」に変更。
- ・昇格の理由により、「高度先進口腔医学演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・退職の理由により、「口腔機能成育歯科学特論」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教0」に変更。
- ・退職に伴う担当者変更の理由により、「歯周病のリスク管理特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「咬合医学・咀嚼器官と脳学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・留学のため担当者変更の理由により、「片頭痛と咬合学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「循環病態薬物療法特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「接着歯科科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「臨床歯科技工特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格及び退職、担当者補充の理由により、「先端補綴治療学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教7」から「助教5」に変更。
- ・退職の理由により、「臨床小児成育歯科学特論」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教0」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「集学的統合歯周治療学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程充実のための増員の理由により、「咀嚼器官の機能と機能障害学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・留学のため担当者変更の理由により、「唾液腺病態科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「抗加齢歯科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「界面制御科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「ミニマルインターベンション歯科臨床特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育課程充実のための増員および昇格、退職（定年・懲戒）の理由により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授27」、「准教授7」から「准教授4」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	138 科目	科目	143 科目	5 科目	140 科目	科目	145 科目	教授昇格のため担当科目を追加 (30)
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (所用時間：40分)			
	校舎敷地	14,193.6 m ²	4,560.04 m ²	2,999.49 m ²	21,753.13 m ²				
	運動場用地	0 m ²	47,106.68 m ²	0 m ²	47,106.68 m ²				
	小 計	14,193.6 m ²	51,666.72 m ²	2,999.49 m ²	68,859.81 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
	合 計	14,193.6 m ²	51,666.72 m ²	2,999.49 m ²	68,859.81 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神奈川県歯科大学短期大 学部と共用				
	(26,317.51 m ²)	(8,862.27 m ²)	(10,037.77 m ²)	(45,217.55 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	8 室	6 室	6 室	1 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成29年4月 専任教授2名新規採用と 准教授2名を新規任用の ため(29) 平成30年4月 専任教授1名新規採用と 講師1名を新規採用のた め(30)			
	歯学研究科 歯学専攻		74 72 68	室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能 なため、大学全体の数 (短期大学部は除く) 図書・学術雑誌・視 聴覚資料：修学環境向上 のための資料購入による 増加(29) 図書・視聴覚資料：修学 環境向上のための資料購 入による増加(30) 学術雑誌(電子ジャー ナル)：CINii機関定額制の 終了とアグリケーター系の種数 変更による減少(30)	
	歯学研究科 歯学専攻	161,000 [67,200] (161,258 [67,522]) -(160,770 [67,155]) -(159,811 [67,124])	2,179 [1,230] (2,179 [1,230])	5,350 [3,647] (4,824 [3,572]) -(5,444 [3,673]) -(5,350 [3,647])	5,400 (5,404) -(5,391) -(5,352)	37 (37)	(0)		
	計	161,000 [67,200] (161,258 [67,522]) -(160,770 [67,155]) -(159,811 [67,124])	2,179 [1,230] (2,179 [1,230])	5,350 [3,647] (4,824 [3,572]) -(5,444 [3,673]) -(5,350 [3,647])	5,400 (5,404) -(5,391) -(5,352)	37 (37)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	1,792m ²	215	168,389						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	7,418.08 m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費については研究科 単位での特定不能なた め、大学全体の数。 図書費には、電子ジャー ナル・データベースの整備費 (運用コストを含む)を含 む。 図書購入費 開設前年度：データベースが 含まれていなかったため 修正(29)
		教員1人当り研究費等	90千円	90千円	図書購入費	63,119千円 56,003千円	61,142千円 56,003千円	61,142千円 56,003千円	
	共同研究費等	45,000千円 30,000千円	45,000千円 30,000千円	設備購入費	20,000千円	10,000千円 5,000千円	10,000千円 5,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,100千円	700千円	700千円	700千円	— 千円	— 千円			

<p>学生納付金以外の維持方法の概要</p>	<p>医療収入、経常費補助金、寄付金等</p>	<p>開設・完成年度：データベースを含めたことと雑誌の購読見直しによる増加（29）</p> <p>平成29年度予算で研究費15,000千円が新たに承認され、従来額と合計45,000千円となった。研究用の備品購入費は10,000千円で承認された。ブランディング研究推進のため完成年度まで同額の予算申請を行う予定である。（29）</p>
------------------------	-------------------------	--

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	神奈川県歯科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
歯学研究科 歯学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学)	1.02	平成29年度	神奈川県横須賀市稲岡町82番地	
歯科基礎系専攻	4	-	-	-	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	-	昭和50年度	同上	
歯科臨床系専攻	4	-	-	-	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	-	昭和50年度	同上	
歯学部 歯学科	6	120	-	720	学士 (歯学)	0.84	昭和39年度	同上	
大学の名称	神奈川県歯科大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
歯科衛生学科	3	120	-	360	短期大学士 (歯科衛生学)	0.88	昭和27年度	神奈川県横須賀市稲岡町82番地	
看護学科	3	80	-	240	短期大学士 (看護学)	1.06	平成19年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<歯学研究科 歯学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・大学院FD委員会を常設委員会として活動している
添付資料のとおり（神奈川歯科大学大学院FD委員会規程）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学院・学部合同FD委員会打合せ

日時：4月11日（火）18：00～18：30

出席者：窪田、木本（茂）、菅谷、槻木、不島、6名

議題

- 1) 平成29年度のFD活動計画

第1回大学院FD委員会

日時：6月21日（水）17：30～18：30

議題：

- 1) 今年度大学院FD委員会の事業計画について
- 2) 平成29年度第1回大学院FDワークショップの内容および進行について

出席者：木本茂成、木本克彦、槻木恵一、浜田信城、友松和子（書記：友松和子）

第2回大学院・学部FD合同委員会

日時：3月22日（木）12：30～13：00

議題：

- 1) H29年度会計報告
- 2) 次年度のFDについて

出席者：窪田光慶、菅谷彰、林田丞太、山田良広、浜田信城、宋文群、渡辺清子、浅利仁、長尾健、塩瀬麻子、山川紀子、古城大輔、友松和子（書記：友松和子）

c 委員会の審議事項等

1. 研究倫理審査委員会に書類を提出する時の必要な基本知識と要領（倫理啓発）
2. 研究評価制度の確立（教員の指導力向上）
3. 大学院教育の充実と学位審査基準の共有（学位審査能力の向上）
4. 科学研究費の取得のための講習会を開催する。（競争的資金獲得に関する資質向上）

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD講演会開催
 1. 研究倫理に関する啓発を目的とした講演会
 2. 外部研究資金獲得に向けた講演会
- ・大学院FDワークショップ
 1. 学位審査能力の向上を目的としたFDワークショップ
- ・神奈川歯科大学SD研修会

b 実施方法

講演およびワークショップ

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD講演会開催

1. 研究倫理に関する啓発を目的とした講演会
 - ・平成29年 7月12日（水）「臨床研究法と医学系指針改正点」 76名
 - ・平成29年 8月10日（木）「個人情報保護法改正に伴う研究倫理指針の改正について」 103名
 - ・平成29年10月20日（金）「研究倫理について－倫理指針と臨床研究法の現状と展望－」 38名
2. 競争的資金獲得に関する資質向上に関する講演会
 - ・平成29年 8月23日（水）「口腔科学研究センターの研究体制について－研究センターの役割と科研費獲得のためのコツ－」 30名

大学院FDワークショップ

1. 学位審査能力の向上を目的としたFDワークショップ
 - ・平成29年 6月25日（日）「現在の学位審査の問題点に関する検討」、
「ディプロマポリシーに基づく学位審査基準」 24名

神奈川歯科大学SD研修会

- ・平成29年9月27日（水）「3つのポリシー」 34名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・次年度授業計画（シラバス）の組織的確認・修正を継続実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・平成30年3月に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生及び教員にメールにて公開した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

歯科医療を取り巻く現状が複雑化し、新たな課題への取り組みが必要となっており、自立した臨床研究能力を備える人材が強く求められている。

歯学専攻では、基礎と臨床の壁を超えた横断融合型の教育を展開するために、歯科基礎系専攻と歯科臨床系専攻を改組し、新たに1専攻による大学院歯学研究科を設置した。

本専攻では、臨床的な課題を解決する地域歯科医療における指導的な人材とトランスレーショナルリサーチの実践できる研究者の育成を行うことを目的としている。

本年度は、開設2年目であり、目的の達成に向けて完成してはいるが、1年次の大学院教育が設置目的に示された計画通りに進んでいるか、大学院運営委員会および大学院教授会で評価したところ概ね達成しているとの結論に至った。また、平成30年度は、共通科目の評価を平成29年度より厳格化し、コースワークの充実に向けた取り組みを行い、DPの達成を目指している。

今後ともPDCAサイクルにより問題点を整理し、評価による改善を進めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度内 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年度内を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に大学基準協会の評価を受け、適合の評価を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ (無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成 30 年 6 月 1 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

神奈川歯科大学大学院FD委員会規程

平成25年4月1日施行

(目的)

第1条 この規程は、学校法人神奈川歯科大学大学院（以下「本学」という。）の教育研究水準の維持向上を図るため、教員の教育・研究・マネジメントの向上及び事務職員の事務活動の向上に関する事項を点検・評価し、もって本学の社会的使命を果たす方策を審議することを目的とする。

(構成)

第2条 神奈川歯科大学大学院FD委員会（以下「委員会」という。）は、歯学研究科長の委嘱する大学院指導教員をもって構成する。

- 2 委員は、歯学研究科長が大学院指導教員の中から数名以上を指名する。
- 3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の教職員の出席を求めることができる。

(任期)

第3条 委員の任期は1年とし、その任期は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(招集)

第4条 委員会は、必要に応じ委員長がこれを招集する。

- 2 学長又は委員の過半数の要請があるときには、委員長は、委員会を開催しなければならない。

(審議)

第5条 委員会は、次の事項を取り扱う。

- (1) 建学の精神、教育理念と本学教育の現状確認に関する事項及びその評価
- (2) 教育・研究活動の向上改善に関する事項及びその評価
- (3) 教育・研究に関する将来構想に関する事項及びその評価
- (4) 事務活動の向上改善に関する事項及びその評価
- (5) 教育活動を円滑に行うための教育組織、事務組織に関する事項及びその評価
- (6) その他、大学認証評価に関する事項の対応とその評価
- (7) 当委員会が必要と認める事項及びその評価

(議事の決定)

第6条 議決を要する事項は、議長を除く出席委員の過半数の賛成をもって決する。賛否同

数のときは議長の決するところとする。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学院運営委員会において行う。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

この規程は、平成27年4月1日から施行する。